

「鹿児島県の近現代」教育センター
令和5年度地域マネジメント教育研究プロジェクト

アートと 地域と まちづくり

アートを使って地域おこしやまちづくり、それは今ではよく見かけるようになった発想かもしれませんが、こうした発想に対して肯定的／否定的な意見があることは当然でしょう。ですが、今回のイベントでは、肯定／否定の手前に踏みとどまって考えてみる機会としてみたいと思います。そのために、実際に活動されておられる方のお話を聞きながら、そもそもどのような実例や展開があるのか、そしてアートと地域とまちづくりの関係においてどのような可能性や希望・絶望を見出せるのかということをご参加者全員で考えるきっかけになれば幸いです。

2023 10.27 FRI | 14:30 - 17:40
(途中休憩あり)

一般公開

参加費
無料

登壇者

藤 浩志

美術家

市村 良平

株式会社スタジオグッドフラット
代表取締役／企画・プロデューサー

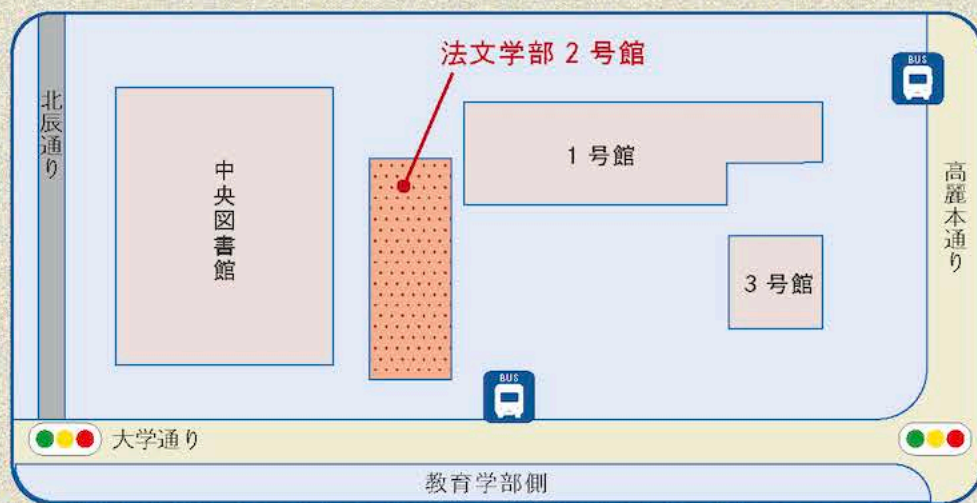
四元 朝子

サンカイ・プロダクション合同会社
広報／アートコーディネーター

会場

鹿児島大学郡元キャンパス

法文学部2号館1F ラーニング・コモンズ1



※ 駐車スペースには限りがあるので、可能な限り公共の交通機関をご利用ください。

コーディネーター

太田 純貴

鹿児島大学法文学部 准教授

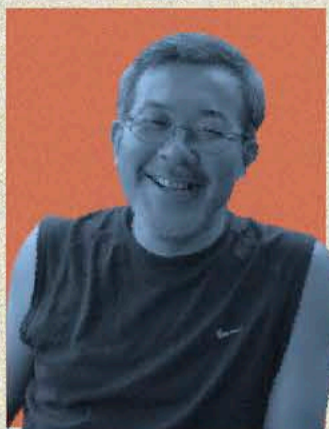
申し込み方法

右の二次元コードから事前の申し込みが必要です。締切：10/20（金）15時まで



アートと地域とまちづくり

登壇者紹介



藤 浩志 美術家

鹿児島生まれ。京都市立芸術大学在学中演劇に没頭した後、公共空間での表現を模索。同大学院修了後パプアニューギニア国立芸術学校に勤務し原初表現と人類学とヤセ犬に出会う。バブル崩壊期の土地再開発業者・都市計画事務所勤務を経て土地と都市と人の欲望を学ぶ。全国各地で地域社会に介入するプロジェクト型の美術表現を实践。取り壊される家の柱で作られた「101匹のヤセ犬」、給料一ヶ月分のお米から始まる「お米のカエル物語」、家庭廃材を蓄積する「Vinyl Plastics Connection」、不要のおもちゃを活用した「Kaekko」「イザ！カエルキャラバン！」「Jurassic Plastic」、架空のキーパーソンを作る「藤島八十郎」、部室を作る「部室ビルダー」等。十和田市現代美術館館長を経て秋田公立美術大学教授、NPO法人アーツセンターあきた理事長、秋田市文化創造館館長 <https://www.fujistudio.co>

トーク 内容

- ① 青森の5つの美術館の様子とありかた
- ② 秋田の美術館の現状
- ③ 此花と北本の事例
- ④ 鹿児島と熊本、福岡の状況の変化／鹿児島の可能性



市村 良平 株式会社スタジオグッドフラット 代表取締役 / 企画・プロデューサー

島根県生まれ。大学進学を機に鹿児島へ。鹿児島大学大学院修了（建築学専攻）後、株式会社丸屋本社マルヤガーデンズ事業部に入社。商業施設内のコミュニティスペースの企画・運営に携わる。その後、一般社団法人鹿児島天文館総合研究所 Ten-Lab、かごしま文化情報センター（KCIC）などにも勤務。独立後は、地域づくりや社会課題解決への取り組みのサポートする事業（事業プロデュース／計画策定・実行支援／人材育成プログラムなど）を実施。地域・社会で、人・モノ・コトが活躍できるフラットな環境づくりを目指す。2021年4月～鹿児島県地域連携アドバイザー。2021年9月～gallery HINGE（鹿児島市）を共同運営。

トーク 内容

- ① あらためて、地域づくりってなんだっけ？
- ② アートの効能と地域づくり
- ③ 小さなギャラリー運営で感じていること



四元 朝子 サンカイ・プロダクション合同会社 広報 / アートコーディネーター

スパイラル（東京・表参道）の広報を経て2002年アヴィニオン大学アーツマネジメント学科専門職過程編入、修士取得。メトロ（パリ地下鉄公団）デザインチームリサーチヤー、パレ・ド・トーキョーのキュレトリアルアシスタント。帰国後、ダンスフェスティバル「フランスダンス03」広報、山口情報芸術センター[YCAM]シアター部門企画制作。かごしま文化情報センター（KCIC）の企画制作／広報チーフ。2016年サンカイ・プロダクション合同会社設立。2021年より東京、山口、鹿児島で、アーティストや企画展、イベントの広報やマネジメントを行う。2019年6月「アール・ブリュット」[白水社 著：エミール・シャンプノワ]を共訳。2021年9月～gallery HINGE（鹿児島市）を共同運営。
<http://sankai-pro.com/>

トーク 内容

- ① 地域・アート・美大の目眩く関係性
- ② 地域にアーティストがいることと市民の関係
- ③ アーティストがいる街という視点

お問い合わせ 鹿児島大学法文学部人文学科 太田純貴 (yota@leh.kagoshima-u.ac.jp)